

ECO2019 年

# 環境経営レポート

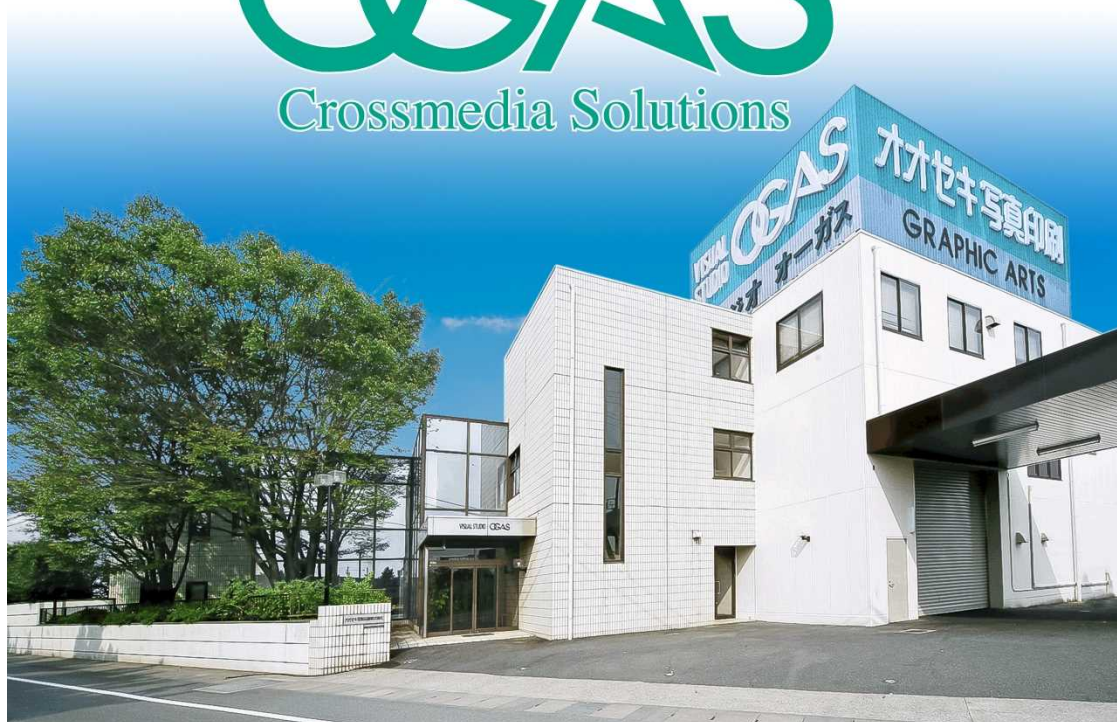
令和 1 年 12 月作成

活動期間：平成 30 年 12 月 1 日 ～ 令和元年 11 月 30 日

Creative Communication

# OGAS

Crossmedia Solutions



## オオセキ写真印刷株式会社

# 目 次

環境経営方針.....	2
1. 事業活動の概要 .....	3
2. 実施体制、役割・責任及び権限.....	4
3. 環境経営目標 .....	5
4. 環境経営計画 .....	6
5. 環境負荷実績結果 .....	7
5－1. 環境目標とその実績結果 .....	7
5－2. 環境負荷実績の経年変化 .....	8
6. 環境経営計画の内容と評価 .....	9
7. 次年度の取組内容 .....	11
8. 環境関連法規への違反、訴訟の有無 .....	12
9. 代表者による全体評価と見直しの結果 .....	13

# 環境経営方針

当社は、現在の環境汚染と CO<sub>2</sub> 排出による地球温暖化が加速していることを憂慮し、事業活動による環境への影響を的確にとらえ、環境への優しさを優先します。その為に、環境経営目標を定め達成に向けた改善経営計画の定期的な確認と評価を行い、環境経営システムの維持、継続的改善に努めます。

また、環境関連法を遵守し、地球温暖化防止の為 CO<sub>2</sub> 削減・省エネを推進し環境経営方針を全社員に周知するとともに、地球への環境保全活動に積極的に取り組んでまいります。

## <基本方針>

1. 電力使用量を削減します
2. ガソリン使用量を削減します
3. 水の使用量を削減します
4. 廃棄物排出量を削減し、リサイクルに努めます
5. グリーン購入を推進します
6. 化学物質を適正に管理し、使用量を削減します
7. 印刷物の生産過程で環境に配慮します
8. 周辺の清掃活動をし、社会活動に貢献します
9. 環境活動は継続的に見直し、改善していきます
10. 環境に関する法規を遵守し、環境保全・予防に努めます

制定：2009年12月1日

改定：2018年12月1日

オオゼキ写真印刷株式会社

代表取締役

大関 邦夫

# 1. 事業活動の概要

○会社名および代表者名 オオゼキ写真印刷株式会社

代表取締役 大関邦夫

○所在地 本社工場 静岡県浜松市中区葵西2丁目5-20

○環境保全関係の責任者および連絡先

責任者 印刷技術 課長 中井智史

連絡先 TEL 053-436-1956 FAX 053-437-6095 E-mail:t-nakai@ozekipp.com

○事業の内容 一般企業及び観光関連の販促物の企画・制作・印刷

○規模 敷地 本社工場 1,611 m<sup>2</sup> 建坪 鉄筋コンクリート3階建て 延べ 1,555 m<sup>2</sup>

○従業員 42名

○事業規模

項目	単位	2017年度 (H28.12~H29.11)	2018年度 (H29.12~H30.11)	2019年度 (H30.12~R1.11)
生産高	百万円	380	372	330
従業員数	人	48	45	42

○沿革

昭和36年10月 現代表者、大関邦夫が商業フォトを主要業務としてオオゼキフォトサービスを創設

昭和38年12月 印刷工場を浜松市葵町152(現本社)に設置、外注印刷をすべて自社印刷に切り替え

昭和42年3月 法人に改組 資本金100万円にて、オオゼキ写真印刷株式会社設立

昭和49年6月 資本金3,000万円に増資

昭和60年8月 新社屋竣工

平成6年10月 マッキントッシュ&ゼロックス カラーコピーデザイナーズシステム導入

平成17年7月 CTP出力機、ニューダイヤ菊全高速フルデジタル自動4色機導入

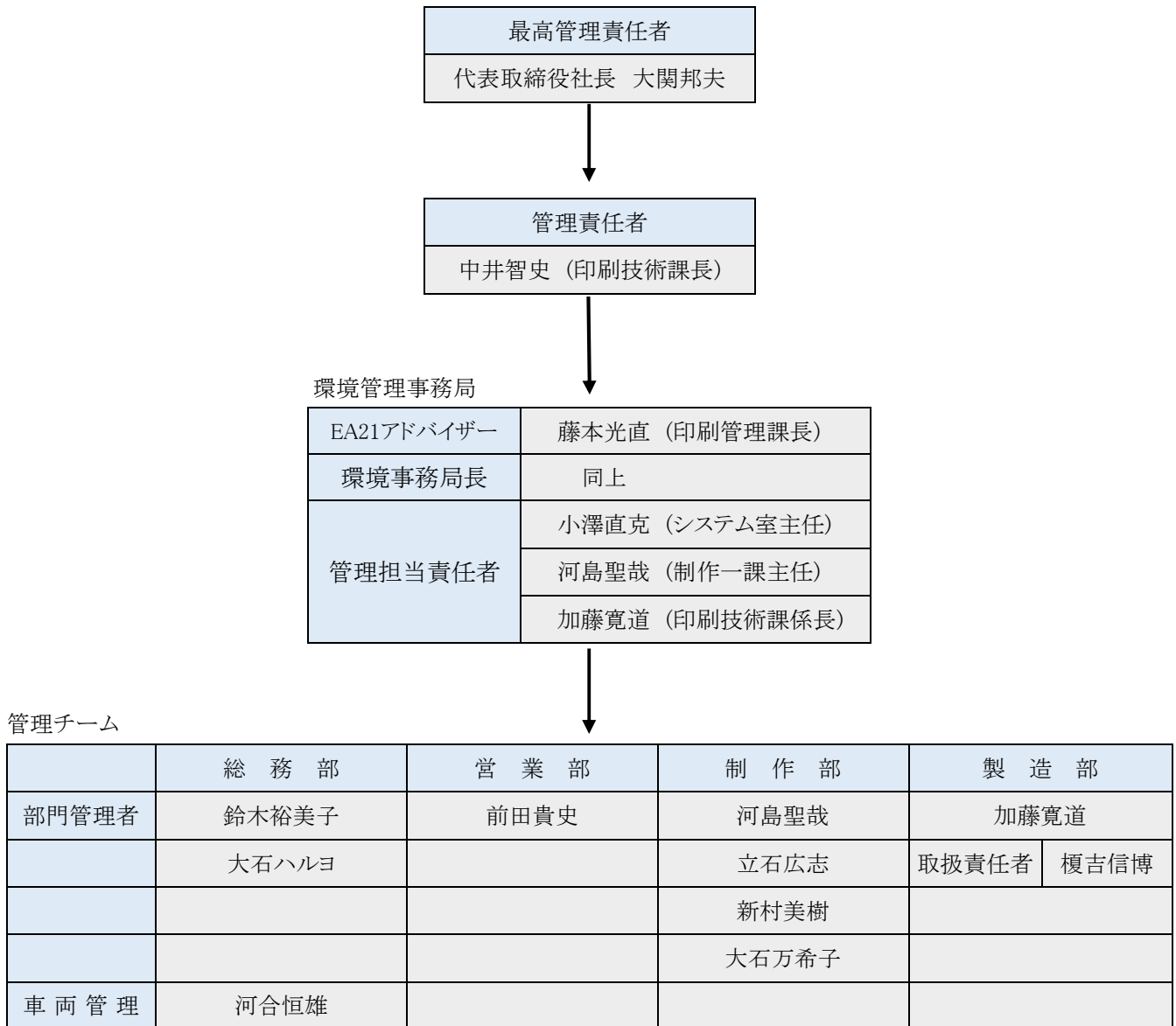
平成23年9月 コニカミノルタ オンデマンド印刷機導入

○対象範囲

本社の全組織・全活動・全従業員が認証登録の対象

## 2. 実施体制、役割・責任及び権限

2019年12月現在



### 役割・責任及び権限

最高責任者(代表取締役)	EA21に関する責任と権限を持ち、管理責任者の任命及び全体の見直し、改書指示
環境・管理責任者	EA21の運営・維持・管理・統括・レポート作成
EA21アドバイザー	環境管理責任者の補佐・環境活動の実績集計
環境・管理事務局長	環境管理責任者の補佐・環境活動の実組集計
各部門管理責任者	各部門環境活動の実額集計、部門の目標・計画を提案
各部門リーダー	各部門長の指示に従って、部門の目標・計画の立案に参加し実行
全従案員	環境方針、部門の目標・計画に従って実行する

### 3. 環境経営目標

#### ○環境負荷低減のための目標

過去3年間の環境への負荷の状況をチェックし、H31年度は温室効果ガス排出量、水資源使用量、廃棄物総排出量の削減に取り組むことにした。さらに昨今の社会的要請による環境保全の取り組みとして、環境経営システムに係わる項目についても積極的に取り組むことにした。環境負荷と環境への取り組み結果を踏まえて定めた環境負荷低減のための目標は次のとおりである。

#### 環境負荷低減目標（目標は前年度実績に対する値）

項目	単位	基準	目標				
		H30年	H31年	R2年	R3年	R4年	R5年
二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	123,388	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
電気	kwh	199,212	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
L P G	kg	129.0	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
ガソリン	ℓ	7,568	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
軽油	ℓ	3,283	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
廃棄物等総排出量	t	33.93	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
一般廃棄物	t	3.31	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
産業廃棄物	t	30.63	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
水資源使用量削減	m <sup>3</sup>	1,058	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
化学物質使用量削減			適正管理に努める				
グリーン購入			購入するよう努める				
印刷物の生産過程の配慮			配慮に努める				
環境にやさしい植物性インキ（ベジタブルインキ）を使用する							
湿し水に関してもノンアルコール化が可能な製品を選択する							
環境に配慮した機種を選定や湿し水の循環システムを採用							

<備考>

1. 廃棄物排出量は、不要な物、価値のない物だけをカウント(対象)とした。
2. 化学物質使用量、グリーン購入、印刷物の生産工程の配慮については定性的目標とした。

## 4. 環境経営計画

経営計画内容		責任者
電力の抑制	室内温度は、夏は事務系28度以上、冬は20度以下、工場は年間で省エネに努める	各部門 管理者
	休憩時間は消灯し、パソコンも極力省電力に努める。	
	仕事中も長時間に亘る離席時は極力消灯する。	
	省エネタイプの機械設備を導入する。	
	エアコンフィルターの掃除の徹底(毎週清掃状況をチェックする。) 印刷機等は原則として昼休みは電源を切る。	
自動車燃料の効率化	社用車の効率的な運転を推進する。	車両管理 河合
	ドライバーの車両整備管理。	
	自社車両全てにおいて、車両ごとの走行距離、燃料使用量、燃費を管理者に書面で報告し管理者はこれを公表する。	
	アイドリング防止の徹底とアクセルむらのない運転をする。	
廃棄物の削減	各職場に分別(可燃ごみ、カン、ペットボトル、不燃ごみ等)のゴミ入れを置き、回収業者に渡す。リサイクルできるものはリサイクルする。	管理責任者 中井
	CTP印刷版出力機の導入によるデジタル化により中間材を削減する。	
	使用済みインキは委託業者が収集し、焼却処分する。	
	廃液(現像、定着液)は委託業者が収集し、中和処分する。	
	印刷版(アルミ)や断裁紙くずは、委託業者が回収しリサイクルする。	
	インキの空き缶やインキ付ウエス・ペール缶・プラスチック・ビニール類などは専門業者が回収し、リサイクルできるものはリサイクルする。	
当社の印刷工程で使用している有機溶剤は製版現像廃液の廃アルカリがあります。この廃液は屋外に設置してあるタンクに貯蔵し専門業者が回収します。その他、工場補助材としての洗浄剤等も専門業者が回収します。		
紙使用量(コピー紙等)の削減と有効利用	コピー紙、出力紙は各職場に枚数をノートに記入し無駄を無くすようにする。	管理責任者 中井
	縮小コピー、両面コピーの採用、損紙コピーの裏再利用	
	印刷紙は従前からの再生紙の購入を積極的に進めている。	
	印刷紙の白紙をメモ紙、コピー紙として再利用する。	
	ヤレ紙の削減に全社をあげて取り組む。ミスによる大量損紙をなくす。	
	ヤレ紙は裏面の再利用又はリサイクルする。	
	書類の電子化(電子媒体化、メール等)により紙資源を削減する。	
毎月の使用枚数を公表する。		
水使用量の削減	こまめに節水する。	管理責任者 中井
	トイレ等の水量を最小にする。	
	工場で使用する(刷版・印刷)水は循環器を使用している。	
	洗車はできるだけ節水に努める。	
総物質投入量 グリーン購入の推進	グリーン購入規定に沿ったグリーン購入を推進する。	管理責任者 中井
	再生紙使用は営業マンを通じて促進しています。	
	環境にやさしい植物性インキ(ベジタブルインキ)を使用する。	
	環境に配慮した機種を選定や湿し水の循環システムを採用	
	事務用品、文具、作業服は出来るだけグリーン購入を行う。 湿し水に関してもノンアルコール化が可能な製品を選択する。	
地域環境整備への協力	社屋内外において、具体的な分担を決めて定期的に整理、整頓、清掃を推進する。(毎週月曜日に朝全員整理、整頓、清掃、清潔、しつけの実施)	管理責任者 中井
	全ての廃棄物・廃液は回収業者に依頼し、再生物・産廃物に種分けして、工場から地域環境を汚染する物質を排出させない恒久対策を取る。	
	当社は環境問題には以前から大変関心があり、再生紙、植物性インキ、資源ゴミの分別を行ってきましたが、今後はCO <sub>2</sub> 削減と廃棄物を出来るだけ出さない、ムダを省くことを徹底して推し進める。	
	環境教育はあらゆる機会を捉えて日常的に行う。外部研修会参加。 平成28年度の重要実行項目の中に「環境に配慮した行動をしよう」を掲げている。 全体会議 年度初めの経営方針発表 新入社員研修時 環境委員会・1回/1年開催 火災、地震等の緊急事態発生時に想定される被害に対しては社内自主防災組織をもって対応する。	
その他	関連する法規に則り適正な処理を推進する。	

## 5. 環境負荷実績結果

### 5-1. 環境目標とその実績結果

項目		単位	2018年度 (H29.12~H30.11)	2019年度 (H30.12~R1.11)			
			基準値	削減率	目標値	実績値	評価
二酸化炭素排出量	総量	kg-CO <sub>2</sub>	123,388	1%削減	122,154	116,370	○
	売上高当たり	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	332			353	
電 気	総量	kwh	199,212	1%削減	197,220	190,594	○
	売上高当たり	kg/百万円	535			578	
L P G	総量	kg	129.0	1%削減	127.7	106.19	○
	売上高当たり	kg/百万円	0.35			0.32	
ガソリン	総量	ℓ	7,568	1%削減	7,482	6,986	○
	燃費	km/ℓ	11.4			11.8	
軽 油	総量	ℓ	3,283	1%削減	3,250	3,029	○
	燃費	km/ℓ	11.0			10.4	
廃棄物排出量	総量	t	33.93	1%削減	33.59	31.50	○
	売上高当たり	t/百万円	0.091			0.096	
一般廃棄物	総量	t	3.31	1%削減	3.28	3.38	×
	売上高当たり	t/百万円	0.0089			0.010	
産業廃棄物	総量	t	30.63	1%削減	30.32	28.12	○
	売上高当たり	t/百万円	0.082			0.085	
水資源使用量削減	総量	m <sup>3</sup>	1,058	1%削減	1,047	1,070	×
	売上高当たり	m <sup>3</sup> /百万円	2.84			3.24	
化学物質使用量削減					適正管理に努める	努めた	○
グリーン購入					グリーン購入に努める	努めた	○
印刷物の生産過程の配慮					配慮に努めた	努めた	○
環境にやさしい植物性インキ(ベジタブルインキ)を使用する							
湿し水にかんしてもノンアルコール化が可能な製品を選択する							
環境に配慮した機種を選定や湿し水の循環システムを採用							
売上高		百万円	372			330	

<備考>

1. 購入電力の排出係数は2016年度中部電力の調整後の排出係数0.480を使用した。
2. 廃棄物排出量は、不要な物、価値のない物だけをカウント(対象)とした。
3. 化学物質使用量、グリーン購入、印刷物の生産工程の配慮については定性的目標とした。
4. 評価は、○印:達成、△印:ほぼ達成、×:未達成とした。

#### <二酸化炭素排出量>

○電力 CO<sub>2</sub>

使用電力は稼働時間が少なくなったこともあり、削減することができました。また、日ごろの節電の効果が表れています。

○化石燃料 CO<sub>2</sub>

ガソリンの使用量は増加、軽油は減少。数値管理を徹底し走行の無駄やムラを減らします。

#### <廃棄物排出量>

廃棄物総排出量は減少することができました。紙類の排出量の減少が大きく影響しています。継続して印刷時に発生した白紙のメモ用紙への使用、ミスによる損紙の削減を行っていきます。

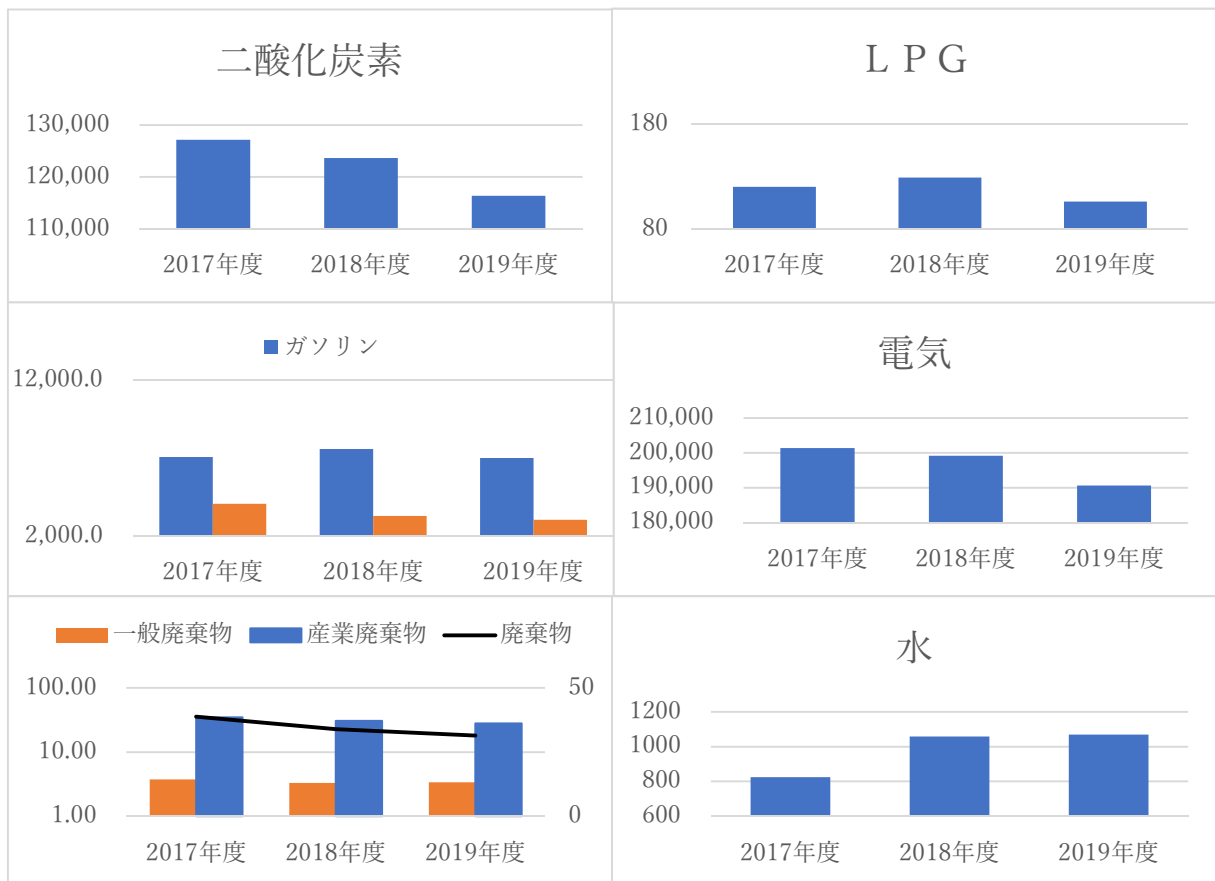
#### <水道水使用量>

水使用量は増加。引き続き朝礼などで節水を呼びかけ意識の向上に努めます。



5-2. 環境負荷実績の経年変化

項目		単位	2017年度 (H28.12~H29.11)	2018年度 (H29.12~H30.11)	2019年度 (H30.12~R1.11)
二酸化炭素排出量	総量	kg-CO <sub>2</sub>	127,155	123,665	116,370
	売上高当たり	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	347	332	353
電 気	総量	kwh	201,347	199,212	190,594
	売上高当たり	kwh/百万円	549	535	578
L P G	総量	kg	120.06	128.96	106.19
	売上高当たり	kg/百万円	0.33	0.35	0.32
ガ ソ リ ン	総量	ℓ	7,062	7,568	6,986
	燃費	km/ℓ	12.0	11.4	11.8
軽 油	総量	ℓ	4,052	3,283	3,029
	燃費	km/ℓ	10.0	11.0	10.4
廃棄物排出量	総量	t	38.80	33.93	31.50
	売上高当たり	t/百万円	0.11	0.091	0.096
一般廃棄物	総量	t	3.77	3.31	3.38
	売上高当たり	t/百万円	0.010	0.0089	0.010
産業廃棄物	総量	t	35.04	30.63	28.12
	売上高当たり	t/百万円	0.095	0.082	0.085
水資源使用量削減	総量	m <sup>3</sup> /百万円	824	1,058	1,070
	売上高当たり	m <sup>3</sup>	2.25	2.84	3.24
売上高		百万円	367	372	330



## 6. 環境経営計画の内容と評価

経営計画内容		責任者	評価	原因	対策
電力の抑制	室内温度は、夏は事務系28度以上、冬は20度以下、工場は年間で省エネに努める	各部門 管理者	△	気温の変化が激しい	月ごとのテーマの中で徹底していきます
	休憩時間は消灯し、パソコンも極力省電力に努める。		△	繁忙期などは休憩時間も作業があり、あまり実行できませんでした	周知を徹底し省電力に努めます
	仕事でも長時間に亘る離席時は極力消灯する。		○		周知を徹底し省電力に努めます
	省エネタイプの機械設備を導入する。			設備の新設・更新の計画はありませんでした	今後省エネタイプの設備導入を随時検討
	エアコンフィルターの掃除の徹底(毎週清掃状況をチェックする。)		△	清掃状況のチェックが不十分でした	定期的な清掃を徹底していきます
	印刷機等は原則として昼休みは電源を切る。		○		作業効率を考え、工場内の電灯に限りたと思います
自動車燃料の効率化	社用車の効率的な運転を推進する。	車両管理 河合	○		今後も実施していきます
	ドライバーの車両整備管理。		○		今後も実施していきます
	自社車両全てにおいて、車両ごとの走行距離、燃料使用量、燃費を管理者に書面で報告し管理者はこれを公表する。		○		今後も実施していきます
	アイドリング防止の徹底とアクセルむらのない運転をする。		○	アイドリングストップ車1台入替	今後も検討
廃棄物の削減	各職場に分別(可燃ごみ、カン、ペットボトル、不燃ごみ等)のゴミ入れをおき回収業者に渡し、リサイクルできるものはリサイクルする。	管理責任者 中井	○		廃棄物の分別、リサイクルを徹底していきます。化学物質の適正廃棄と保管管理を徹底していきます
	CTP印刷版出力機の導入によるデジタル化により中間材を削減する。		○		
	使用済みインキは委託業者が収集し、焼却処分する。		○		
	廃液(現像、定着液)は委託業者が収集し、中和処分する。		○		
	印刷版(アルミ)や断裁紙くずは、委託業者が回収しリサイクルする。		○		
	インキの空き缶やインキ付ウエス・ペール缶・プラスチック・ビニール類などは専門業者が回収し、リサイクルできるものはリサイクルする。		○		
	当社の印刷工程で使用している有機溶剤は製版現像廃液の廃アルカリがあります。この廃液は屋外に設置してあるタンクに貯蔵し専門業者が回収します。その他、工場補助材としての洗浄剤等も専門業者が回収します。		○		
紙使用量(コピー紙等)の削減と有効利用	コピー紙、出力紙は各職場に枚数をノートに記入し無駄を無くすようにする。	管理責任者 中井	△	使用量は確認していますが、枚数の記入がありません	実施方法を検討します
	縮小コピー、両面コピーの採用、損紙コピーの裏再利用		○		今後も実施していきます
	印刷紙は従前からの再生紙の購入を積極的に進めている。		△	品質面から使用は21台でした	使用率を高めるように促進していきます
	印刷紙の白紙をメモ紙、コピー紙として再利用する。		○		今後も継続していきます
	ヤレ紙の削減に全社をあげて取り組む。ミスによる大量損紙をなくす。		△	大量損紙の発生抑制	報告・連絡の徹底
	ヤレ紙は裏面の再利用又はリサイクルする。		○		今後も実施していきます
	書類の電子化(電子媒体化、メール等)により紙資源を削減する。		△	周知が不十分でした	月ごとのテーマの中で徹底していきます
	毎月の使用枚数を公表する。		△	記録はしていますが、公表がされていませんでした	公表していきます

経営計画内容		責任者	評価	原因	対策	
水使用量の削減	こまめに節水する。	管理責任者 中井	△	周知が不十分でした	月ごとのテーマの中で徹底していきます	
	トイレ等の水量を最小にする。		○		必要以上に使用しないように周知していきます	
	工場で使用する(刷版・印刷)水は循環器を使用している。		○			
	洗車はできるだけ節水に努める。		○		今後も継続していきます	
総物質投入量 グリーン購入の推進	グリーン購入規定に沿ったグリーン購入を推進する。	管理責任者 中井	△	印刷用紙以外で、周知が不十分でした	月ごとのテーマの中で徹底していきます	
	再生紙使用は営業マンを通じて促進しています。		△	品質面から使用は 21 台でした	使用率を高めるように促進していきます	
	環境にやさしい植物性インキ(バジタブルインキ)を使用する。		○		今後も継続していきます	
	環境に配慮した機種を選定や湿し水の循環システムを採用		○	IPA の代替品を使用しています	今後も継続していきます	
	事務用品、文具、作業服は出来るだけグリーン購入を行う。		△	グリーン購入は 11 品目でした	月ごとのテーマの中で徹底していきます	
	湿し水にかんしてもノンアルコール化が可能な製品を選択する。		○	IPA の代替品を使用しています	今後も継続していきます	
その他	地域環境整備への協力	管理責任者 中井	○		今後も実施していきます	
			○			
	環境保全意識の向上		当社は環境問題には以前から大変関心があり、再生紙、植物性インキ、資源ゴミの分別を行ってきましたが、今後は CO <sub>2</sub> 削減と廃棄物を出来るだけ出さない、ムダを省くことを徹底して推し進める。	△		二酸化炭素の排出量を削減していきます
			環境教育はあらゆる機会を捉えて日常的に行う。外部研修会参加。	△	外部研修会等実施できませんでした	外部研修会等、積極的に参加していきます
			平成 30 日年度の重要実行項目の中に「環境に配慮した行動をしよう」を掲げている。	○		
			全体会議 年度初めの経営方針発表 新入社員研修時 環境委員会・1回/1年開催	○		今後も実施していきます
			火災、地震等の緊急事態発生時に想定される被害に対しては社内自主防災組織をもって対応する。	○		本年度以降も実施していきます
その他	○					

## 7. 次年度の取組内容

電気使用量の削減	空調温度の適正化（冷房28℃・暖房20℃）
	エアコンフィルターの清掃
	休憩時間、長時間離席時の消灯
自動車燃料の削減	効率的なルートで配送
	急発進・急加速や空ぶかしの排除
	タイヤの空気圧を定期的に確認
	適正な車両整備
一般廃棄物の削減	分別の徹底
	品質劣化等による不良在庫を減らす
	プリンター等リサイクルしやすい素材の使用
	包装資材の削減
産業廃棄物の削減	素材別分別の徹底
	作業ミスによる廃棄量の削減
	使い捨て製品の使用や購入の抑制
水資源使用量の削減	節水シールの貼り付け
	社用車の洗車を最小限に留める
	水道管からの漏水点検
化学物質の削減	洗浄液の使用量の削減
	印刷ロス率を少なくする
	濾過装置のフィルターの点検・交換時期の短縮
グリーン購入の推進	有害性の少ない素材の購入
	省エネ性の高い電気製品の購入
	燃費の良い自動車の採用
	事務用品グリーン購入比率向上
	再生紙の使用頻度を高める
紙使用量の削減	ミス撲滅の徹底、コミュニケーションを図る。

### 【まとめ】

デマンド電力監視装置の設置をしてから、3年がたちました。成果は表れていると思います。来年度も電気の使用量の削減を期待します。ムダの改善と環境行動を見直し推進すると同時に、繁忙期の電力や夏場の水使用量など統計的に増加傾向にある部分をテーマとして実行していきます。

## 8. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

取組期間において、環境関連法規等への違反等はありませんでした。

評価日:令和元年 12 月 1 日

評価者:環境管理責任者 中井智史

区分	法律名	該当環境側面	要求事項	届出	業者契約	評価
義務	廃棄物処理法	残ったインキ缶等	産業廃棄物の収集運搬、処分業者と契約し許可証を保管、マニフェスト管理		○	遵守
	騒音規制法	印刷機騒音	特定施設(印刷機【原動機を用いるものに限る】)の設置届規則の遵守	○		遵守
	振動規制法	印刷機振動	規則の遵守	○		遵守
	悪臭防止法	有機溶剤	特定施設(印刷機【原動機を用いるものに限る】)の設置届 臭気指数基準値の遵守			遵守
	下水道法	下水の管理	廃液の適正処理 特定施設(自動式感光膜付印刷版現像洗浄施設)の設置		○	遵守
	水質汚濁防止法	廃液の公共水域への流出	廃液が公共用水域へ流出する事故発生した場合における応急措置の実施とその事故の状況及び講じた措置の概要の浜松市長への届出			遵守
	安全衛生法		有機則・作業主任者			遵守
	消防法		消火設備			遵守
	家電リサイクル法		特定家庭用機器廃棄物の小売業者への適切な処理			遵守
	自動車リサイクル法		使用済み自動車の適正な処理			遵守
責務	フロン排出抑制法		簡易点検の実施 廃棄時の適正な処理 エアコンの点検			遵守
	環境基本法		公害防止、廃棄物への対応			遵守
	容器包装リサイクル法	包装資材等	適正処理の義務			遵守
	グリーン購入法	資材調達	出来る限りの環境物品を調達			遵守

当社に関する法規に対して過去 3 年間の違反、訴訟、および関係機関や近隣住民などの指摘や苦情は 1 件もありませんでした。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

前年同期同様に環境計画に基づき、CO<sub>2</sub>、廃棄物、水資源等、各削減や再資源化を実施し、環境目標の達成に取り組んできました。全体的にみると仕事量の減少もあり数値的には、改善できているように見えます。ミスによる大量損紙の発生やムダの改善を実行し、作業を通してエコに対する意識の向上とコスト削減を強化していきます。また、デマンド監視装置の設置による電気使用量の削減にも成果が現れています。会社としては、生産活動を通じて、段取改善、加工時間短縮、不良低減活動、更には不要照明の消灯等に取り組み電力使用量の削減に取り組むとともに、水使用量、消耗品、消耗工具等の削減を推進します。

環境問題は今後の経済活動には必須の条件となりますので、今後も維持、継続に努め、従業員一人ひとりが環境やその問題に関する知識・理解・態度・関心を深め、自然環境、社会環境など人間にかかわる環境に対して責任ある行動を心掛けていきます。

### 《二酸化炭素排出量削減》について

まだ努力できる身近なところを見直しし（節電方法など）目標を立てる。  
また、新たな取り組みも検討する。

### 《廃棄物削減》について

弊社は生産量による変動を避けられないため、リサイクルを検討する。

### 《水使用量削減》について

現状維持または、もう少し努力する目標を立てる。

### 《グリーン事務用品調達の推進》

現状維持

見直し項目		変更の必要性	㊦の場合の指示事項等
1	環境方針	有・ <input type="radio"/> 無	
2	環境目標	有・ <input type="radio"/> 無	
3	環境活動計画	有・ <input type="radio"/> 無	
4	環境に関する組織	有・ <input type="radio"/> 無	
5	その他のシステム要素	有・ <input type="radio"/> 無	